



年 組 名前

# 道新 ワークシート

## 事件・事故 通報者が撮影

# 110番時映像送信 来月から

## 全国の警察

警察庁は22日、交通事故などの現場で110番した通報者から、スマートフォンで撮影した現場の映像や画像を受け取る新システムの試行運用を、全国の都道府県警で10月1日から始めると明らかにした。事故や事件、災害での活用を想定している。

警察官が駆けつける前に、口頭での説明だけでなく映像・画像で状況を正確に把握し、迅速な初動対応につなげるのが狙いだ。試行は半年間で、通報者の利便性など改善点を洗い出して来年4月1日から本格的に実施する予定。

警察庁によると、110番を受理した通信指令室の担当者は、通報者に映像提供の協力を求めて同意を得た上で、スマホやタブレット

端末に、映像を送ってもらう専用サイトのURLをショートメッセージサービス(SMS)で送信する。通報者は専用サイトに接続し、担当者から口頭で聞いたコードを入力して映像を送信。担当者と話しながら撮影や送信ができる。映像は現場に向かう警察官と共有され、原則として1週間後に自動消去される。

2021年の110番は全国で866万9245

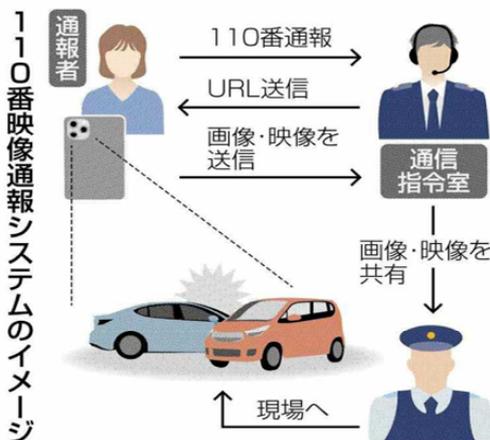
件。76.7%に当たる665万2081件がスマホなどの携帯電話からだった。

同様のシステムを20年10月から導入した兵庫県警では、今年7月までに495件で映像などを受信。傷害事件の目撃者による映像か

ら、逃走車両や容疑者の特徴を割り出し、逮捕につながるケースもあった。

新システムで、通信指令室の担当者は通報者に安全な場所にいるかどうか尋ね、交通事故現場で車道に出るなど危険な状態のまま送信作業をすることがないよう確認した上で提供を依頼する。その際①映像の著作権放棄②通報者の位置情報取得③データ通信料の負担などの留意事項を示して同意を求める。

英語や中国語、韓国語でも対応。スマホ操作に慣



れな高齢者や事故などを目の当たりにして精神的に不安定な人とのやりとりも予想され、警察庁は試行期間中に担当者の対応の仕方など問題点を改善する方針だ。

2022年9月23日 (金) 朝刊 全道版 29ページ (記事は再編集しています)

①この新システムには、よさが2つあります。ひとつは、迅速に(速く)対応できることです。もうひとつを書きましょう。

②新システムでは、どのような人への対応に不安がありますか。2つの例を挙げましょう。

( ) ( )

③この新システムによって、期待されることはどんなことか考えてみましょう。